

本取組における理念の検討（案）

連携によるIT人材育成の目的(再掲)

東京都教育委員会が設置する都立高校等における教育実践、学校法人片柳学園に属する専門学校や大学の高度な教育力や研究力、日本アイ・ビー・エム株式会社に属する最先端の技術力やグローバルな組織力など、それぞれが保有する力を結集させることにより相乗効果をもたらし、もって真に産業界が必要とするIT人材の育成を推進すること（三者による包括連携協定書より）

実施する都立高校及び連携先の専門学校、企業(再掲)

実施する都立高校
都立町田工業高等学校

連携する専門学校
日本工学院八王子専門学校

連携する企業
日本アイ・ビー・エム株式会社

連携する三者が理念とするもの(別紙)や、社会的要請や背景に基づく考え方などから、今後も広く展開可能な理念を検討

IT人材の必要性に関する資料（目指すべき人材像の検討）

共通キャリア・スキルフレームワークのレベル定義

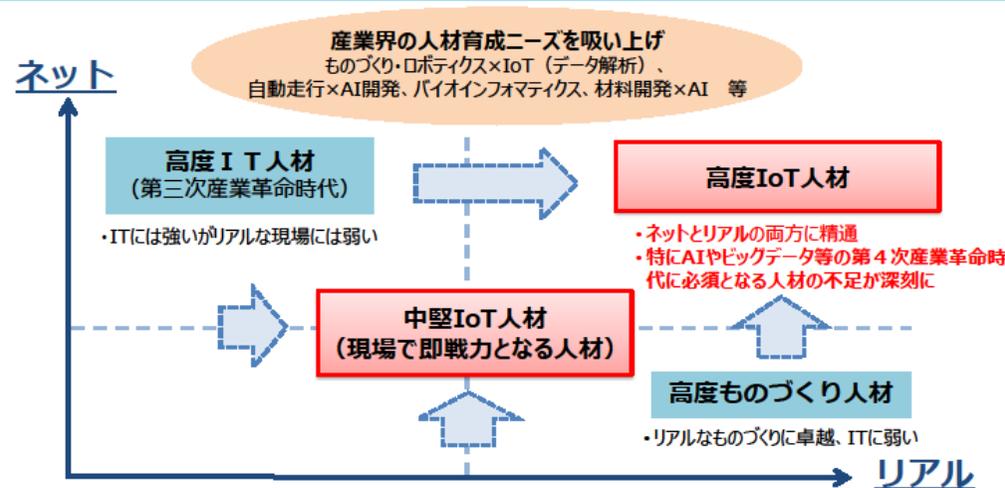
レベル	定義
レベル7	「高度な知識・スキルを有する世界に通用するハイエンドプレーヤ」 業界全体から見ても先進的なサービスの開拓や事業改革、市場化などをリードした経験と実績を有し、世界レベルでも広く認知される。
レベル6	「高度な知識・スキルを有する国内のハイエンドプレーヤ」 社内だけでなく業界においても、プロフェッショナルとしての経験と実績を有し、社内外で広く認知される。
レベル5	「高度な知識・スキルを有する企業内のハイエンドプレーヤ」 プロフェッショナルとして豊富な経験と実績を有し、社内をリードできる。
レベル4	高度な知識・スキルを有し、プロフェッショナルとして業務を遂行でき、経験や実績に基づいて作業指示ができる。またプロフェッショナルとして求められる経験を形式知化し、後進育成に応用できる。
レベル3	応用的知識・スキルを有し、要求された作業についてすべて独力で遂行できる。
レベル2	基本的知識・スキルを有し、一定程度の難易度又は要求された作業について、その一部を独力で遂行できる。
レベル1	情報技術に携わる者に必要な最低限の基礎的知識を有し、要求された作業について、指導を受けて遂行できる。

（「共通キャリア・スキルフレームワーク（第一版）」より）

産業構造審議会情報経済分科会人材育成WG報告書 一次世代高度IT人材像、情報セキュリティ人材、今後の階層別の人材育成—平成24年9月14日 経済産業省より抜粋

ネットとリアルハイブリッド人材、AI人材等の育成強化

- 足下の人材不足は深刻であり、ネットとリアル双方に精通したIoT人材、AIやビッグデータ等の技術をリアルな現場を有する産業分野で活用していく人材の育成が特に急がれる。
- 「Connected Industries」の取組等を通じて産業界の人材ニーズを吸い上げるとともに、IT・データ分野を中心とした能力・スキルの習得支援、AI人材等のプログラム開発支援等について、文科省等とも連携して取組を強化していく。

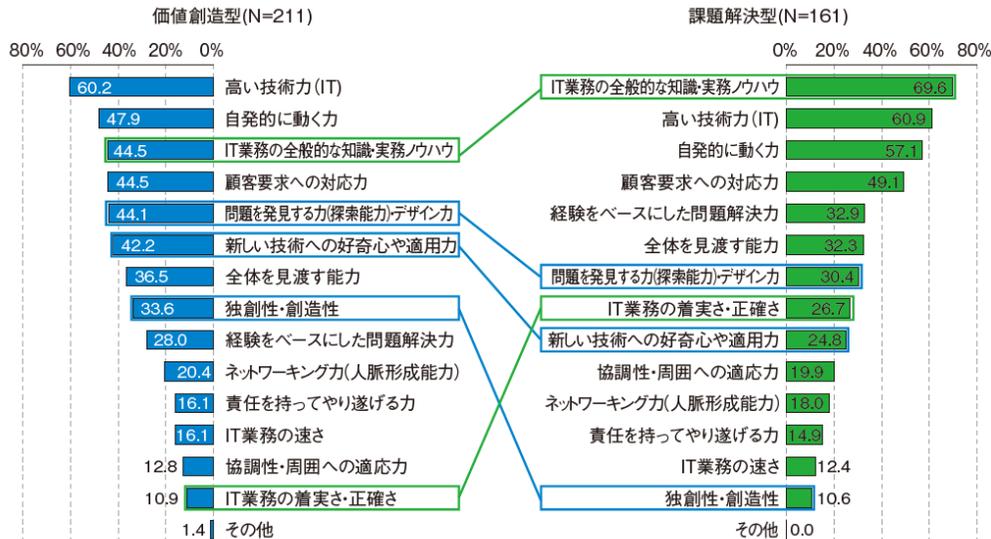


「Connected Industries」東京イニシアティブ2017 平成29年10月2日 経済産業省より抜粋

本取組における理念の検討 (案)

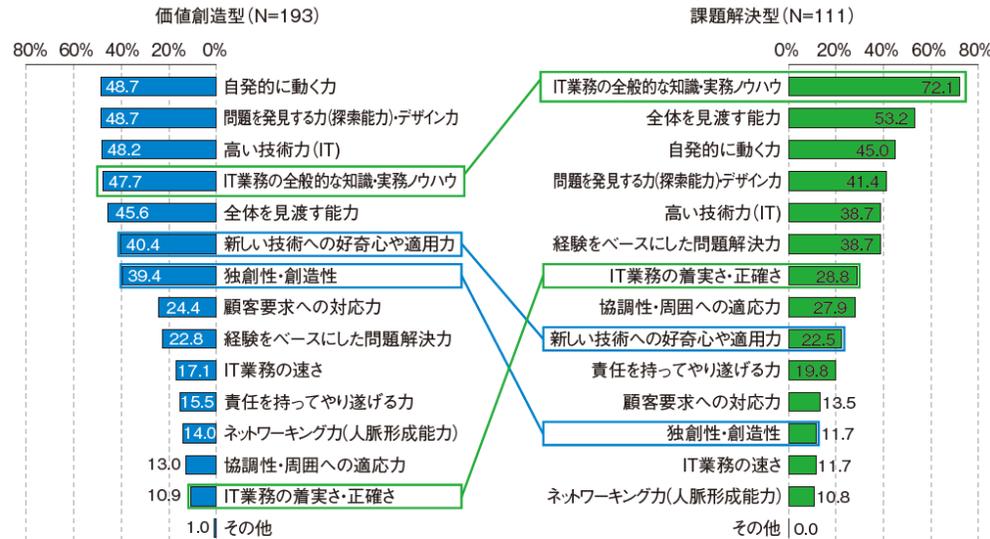
IT人材に求められる能力に関する資料

IT企業の実務者層に不足している“質” (特性別比較)



青枠=価値創造型の割合が高く、課題解決型の割合との差が大きい項目
 緑枠=課題解決型の割合が高く、価値創造型の割合との差が大きい項目

ユーザー企業の実務者層に不足している“質” (特性別比較)



青枠=価値創造型の割合が高く、課題解決型の割合との差が大きい項目
 緑枠=課題解決型の割合が高く、価値創造型の割合との差が大きい項目

「IT人材白書 2018」Society5.0の主役たれ～企業・組織から、個人・チームの時代へ～ 2018年4月独立行政法人情報処理推進機構 IT人材育成本部編より抜粋

取組を進める上での考え方の整理(事前部会での整理)

連携の重要性(案)

- 都教育委員会や都立高校、専門学校、企業という三者の連携
- 新たな仕組みの教育プログラムによる教育実践
- 常に変革し続ける社会へ人材を輩出する取組

連携によるIT人材育成の考えの整理(案)

- 社会で即戦力となるIT人材の育成
- グローバル、ダイバーシティへの対応
- 新たな社会の創造、変革
- 企業の参画による「生きたビジネス・社会」の担い手育成

取組で育成すべき人材に求められる力(事前部会での整理)

育成すべき人材像に求められる能力など(案)

- あらゆる産業分野で活用できるITの最新の専門知識を有する
- 新たな価値の創造や価値の向上を常に考える
- 生涯にわたって学び続け、新たな発想を生み出せる
- 様々なことに興味を持ち、考え、解決する
- 知識やスキルの向上を図り、組織改革や自己変革ができる
- 変化する社会に積極的に挑戦する

本取組における理念と人材像の検討素案(事前部会での整理)

理念素案 「高校、専門学校、企業等が連携して新しい教育プログラムを開発・提供し続けることで、新たな社会の創造に貢献する」

人材像素案 「グローバル化が進む時代に変革をリードし、新たな社会を創造するIT人材」

※素案の考え方: 将来にわたって同じ考え方で取り組める、取組を拡大していく際にも普遍的な考えとすることができる

区分	理念、教育目標、人材像など					
町田工業高校の教育目標等	<p>【教育目標】</p> <p>①人権尊重の精神をふまえ、誠実で協調性に富む人を育てる。</p> <p>②個性を伸ばし、<u>独創性豊かな人</u>を育てる。</p> <p>③<u>勤労をたつとび、努力をおしまない人</u>を育てる。</p> <p>④<u>進歩する工業技術・情報技術に対応できる人</u>を育てる。</p>	<p>【教育目標を達成するための基本方針】</p> <p>①人間尊重の理念を正しく理解させ、教育のすべての領域において生活指導に重点を置くことで、規範意識と社会貢献の精神を育成し、<u>互いの人格を尊重できる思いやりと規範意識のある生徒</u>を育成する。</p> <p>②わかる授業を追求し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。</p> <p>③キャリア教育を推進し、勤労観・職業観を育む。</p> <p>④「総合情報科」高校として、<u>情報活用能力を育て、実践的な職業教育とICT教育を実施する。</u></p> <p>⑤地域・保護者の教育参加を進め、<u>継続的な学校経営の改革を推進する。</u></p> <p>⑥学校を開放し、地域及び社会と連携を図る。</p> <p>⑦健康づくり計画に基づき、心身ともに健康な育成を図る。</p> <p>⑧学校評価を活用して、都民に応える教育活動を推進する。</p> <p>⑨自然環境を守るため、地球温暖化対策など環境教育を推進する。</p>	<p>【学校長による目指す学校像】</p> <p>本校は『モノづくり』と『コトづくり』を通した『人づくり』を土台に、生徒に『考える力』をつけて卒業させる学校を目指す。</p>			
日本工学院八王子専門学校における理念等	<p>【建学の精神】 高度化する現代社会の<u>変化に即応し、創意工夫を重んじ、開拓者精神を涵養することにより、各分野の活動を通じ、広く社会に貢献する人格の形成を重点とする。社会人として責任と自覚を持ち、幅広い人間性と、かつ豊かな国際性を持つ立派な技術者の育成を行い、学術と文化の発展に寄与する。環境との調和をはかり、人類社会に貢献する人材を育成する。</u></p> <p>【片柳学園の基本理念】 理想的教育は理想的環境にあり</p> <p>【日本工学院のミッション】 若者の持つ夢を、技術という生きる力に育み、豊かな未来の創造に寄与する。</p>					
企業における事例（参考：IBM）	<p>IBM's 1 purpose, 3 value and 9 practices</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>One Purpose (一つの目的) Be essential (最も必要とされる存在になる。)</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>Three Value (IBMers Value=IBM社員が共有する3つの価値観)</p> <hr/> <p>お客様の成功に全力を尽くす</p> <hr/> <p>私たち、そして世界に価値あるイノベーション</p> <hr/> <p>あらゆる関係における信頼と一人ひとりの責任</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>Nine practices (9つの行動規範)</p> <hr/> <p>◎常にお客様を第一と考え、行動する ◎ニーズに耳を傾け、未来を描く ◎最高の専門性を惜しみなく提供する</p> <hr/> <p>◎会社と自分自身を常に進化させる ◎独自のアイデア創出に挑む ◎野鴨の精神を尊ぶ</p> <hr/> <p>◎考え、準備し、事前の修練を徹底する ◎<u>団結して速やかに取り組む</u> ◎<u>個人的な関心を寄せる</u></p> </td> </tr> </table>			<p>One Purpose (一つの目的) Be essential (最も必要とされる存在になる。)</p>	<p>Three Value (IBMers Value=IBM社員が共有する3つの価値観)</p> <hr/> <p>お客様の成功に全力を尽くす</p> <hr/> <p>私たち、そして世界に価値あるイノベーション</p> <hr/> <p>あらゆる関係における信頼と一人ひとりの責任</p>	<p>Nine practices (9つの行動規範)</p> <hr/> <p>◎常にお客様を第一と考え、行動する ◎ニーズに耳を傾け、未来を描く ◎最高の専門性を惜しみなく提供する</p> <hr/> <p>◎会社と自分自身を常に進化させる ◎独自のアイデア創出に挑む ◎野鴨の精神を尊ぶ</p> <hr/> <p>◎考え、準備し、事前の修練を徹底する ◎<u>団結して速やかに取り組む</u> ◎<u>個人的な関心を寄せる</u></p>
<p>One Purpose (一つの目的) Be essential (最も必要とされる存在になる。)</p>	<p>Three Value (IBMers Value=IBM社員が共有する3つの価値観)</p> <hr/> <p>お客様の成功に全力を尽くす</p> <hr/> <p>私たち、そして世界に価値あるイノベーション</p> <hr/> <p>あらゆる関係における信頼と一人ひとりの責任</p>	<p>Nine practices (9つの行動規範)</p> <hr/> <p>◎常にお客様を第一と考え、行動する ◎ニーズに耳を傾け、未来を描く ◎最高の専門性を惜しみなく提供する</p> <hr/> <p>◎会社と自分自身を常に進化させる ◎独自のアイデア創出に挑む ◎野鴨の精神を尊ぶ</p> <hr/> <p>◎考え、準備し、事前の修練を徹底する ◎<u>団結して速やかに取り組む</u> ◎<u>個人的な関心を寄せる</u></p>				